

豊中市日本中国友好協会新春交流会報告

見本重宏

1月22日、豊中市日中友好協会の新春交流の集いが、一般社団法人認証祝賀会を兼ねて開催され、私と許副会長が出席しました。府日中参加の地区協会初めての社団法人化であり、多様な日中交流事業展開を開始する田中会長始め会員各位に敬意を表します。

会場には、大阪総領事館・府日中関係者・国会議員・豊中市議・大阪大学留学生会等多くの方々が出席されました。私は、2014年に開催された設立15周年「西村真琴と魯迅」講演会及び歓迎会に続き2回目の出席となり、今後豊中日中との交流関係を深めて行く所存であります。また、昨日21日開催した当会新年会にも田中会長のご出席を頂き、更に「翼よよみがえれ」映画化に関して熱い激励を賜っており感謝しています。

交流会は4部構成の盛大な内容で、1部では大阪大学留学生による民楽演奏、2部では社団法人化認証祝賀会及び懇親会となり、田中会長の開会挨拶・府日中谷井会長の祝辞・総領事館曾淋政治文化室長・張希西西日本留学生学友会会長と続き、恐縮ながら私の乾杯の音頭で歓談が開始されました。懇親会時、名刺交換と共に日中友好の原点でもある秘話「翼よよみがえれ」映画化の協力要請及び会報119号の配布を協会のご厚意により行いました。

第3部では、今年の当会新年会でもお世話になった歌の親善大使宗茜さんの独演歌謡コンサートを楽しみました。

第4部では、上海交通大学教授兼中国魯迅研究会副会長である王錫榮先生の「魯迅と日本人達」の講演会に出席し、16時頃散会となりました。

今後、幅広く関西地区の日中友好団体と交流を深め、各団体の持ち味を生かした日中交流イベントの共同開催に向け活動を深めて行くことの重要性を改めて感じました。

